

S. F.

書いた人

本人・父・母

僕は6年生の4月に海外から帰国し、日能研とユリウスに通い始めました。最初は自分の実力が塾でどれだけ通用するか分からず、とても不安でした。しかし、模試やテストの結果がでるにつれて、だんだんと努力しなければいけないことが分かていきました。



週1回の英語では僕の苦手な作文と語彙を徹底的に指導してもらいました。先生が宿題を計画的に出してくれたので、毎日少しは英語にふれることができました。毎日英語にふれることで、英語を忘れずに済みました。

夏休み中は日曜以外ほぼ毎日朝から塾に自習しに行っていたので大変でした。けれど、友達に会えるのだと思うと、あまり苦にはなりません。僕は算数が好きなので、お盆の算数特別講座を受けました。そこでは他校から色々な生徒が集まったので、良い刺激になりました。

夏休みが終ると、どんどんやる気がでてきました。模試でも偏差値がグーンと上がり、夏休みの結果が出てきたのだなと実感することができました。また、英語でも作文が上手くなり、合格の可能性がどんどん上がっている感じがしました。過去問でも算数ではいつも高得点をとれていたの、自信たっぷりでした。

受験当日の支えとなったのは、何ととってもみんなからの応援です。そのおかげで緊張がほぐれ、自分の実力を出しきることができました。合格発表の当日自分の受験番号を見つけると、思わず泣き出してしまいました。

努力をコツコツと積み重ねていけば自分の願いは叶うはず。これからの受験生たち、頑張ってください。

※ユリウスでは、受験に関わる体験談を貴重な「経験者の声」として、次の受験生のために活用させていただいています。

※冊子・HP等に掲載する際には、掲載のお願いをさせていただき、承諾をいただいております。個人情報に関する部分は伏せて記載をしています。

S. F.

書いた人

本人・父・母

第一志望の学校に合格をした時には、息子の努力を称えたい気持ちとご指導して頂いた先生とユリウス本部英語担当の方々への感謝の気持ちでいっぱいになりました。

約4年間の英語圏での生活を経て、6年生の4月に帰国をしました。はじめは帰国入試について右も左も分かりませんし、英語の試験内容がどれだけ難しいのか、どのような問題がでるのか、また何より息子の英語の能力がどのくらいあるのか、入試に通用するのか、などが何も分かっていませんでした。

そのような中、ユリウスに入会し体験レッスンを受講させて頂きました。その時に本部の英語担当の方々がいらしてくださり、息子の英語力を細やかにチェックして下さいました。また、志望校に向けては、どのくらいのレベルまで持ち上げなければならないか、そのためには何をすべきか、などを丁寧に教えて下さいました。

個別指導でありますので、共に頑張る友達もいませんし、帰国してすぐに受験勉強を始め、それまでの生活とは全く異なる環境に置かれた息子でありましたが、第一志望に向けて黙々と勉強に励めました。これはひとえに、担当先生のご指導と英語本部の方々のサポートのおかげと大変感謝しております。

英語の模試などがなかったため、どのくらいレベルアップしているのかが目に見えなく不安になることもありましたが、英語本部の方が何度も息子の通っている校舎に足を運んでくださり、面談をして説明をしてくださったり、受験校についてのアドバイスも細やかにして下さいました。

はじめの頃は、英作文を書くのが苦手だったり、過去問も時間内に解けなかったりと心配事が多かったのですが、入試1ヵ月前頃から、今まで教えてもらったもの全て出すかのように英作文が書けるようになり、過去問もよく解けるようになりました。

入試本番でも実力を発揮することができたようで見事に合格を勝ち取れました。

これまでのご指導とお力添えに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

